

平成27年度 事業報告書

特別養護老人ホーム笑寿苑	1P
養護老人ホーム宇寿荘	5P
デイサービスセンター愛あいの家	7P
ヘルパーステーションかも	8P
加茂デイサービスセンター	10P
デイサービスセンターほほえみ	13P
加茂福祉会居宅介護支援事業所	15P
かも社会就労センター	17P
加茂健康福祉センターかもてらす	21P

社会福祉法人かも福祉会 平成 27 年度事業報告

特別養護老人ホーム笑寿苑

(I) 第一種社会福祉事業

(1) 特別養護老人ホーム「笑寿苑」事業 入所定員 長期入所 70 名

ア) 入居者等の状況 (平成 28 年 3 月 31 日現在) 短期入所 10 名

出身地	小計	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
雲南 市	加茂町	33	1	5	4	15	8
	大東町	27		1	5	9	12
	木次町	3			1		2
	三刀屋町	4			1		3
	掛合町	0					0
	吉田町	0					0
江津市	0					0	
松江市	2				1	1	
合 計	69	1	6	11	25	26	

イ) 入居者の年齢構成 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

100 歳以上	7 名
90 歳～99 歳	23 名
80 歳～89 歳	32 名
70 歳～79 歳	7 名
60 歳～69 歳	0 名

最高齢 106 歳、 平均年齢 88.6 歳【前年度 87.2 歳】、平均介護度 4.00【前年度 4.14】

ウ) 年度中の入居者移動状況

入苑者数	23 名	【前年度 22 名】
退苑者数	24 名	【前年度 19 名】

エ) 短期入所利用者数

月	利用者数	利用延べ日数	稼働率
4 月	40 人	285 日	95.0%
5 月	43 人	308 日	99.4%
6 月	40 人	293 日	97.7%
7 月	39 人	293 日	94.5%
8 月	41 人	296 日	95.5%
9 月	39 人	287 日	95.7%
10 月	38 人	301 日	97.1%
11 月	42 人	304 日	101.3%
12 月	36 人	268 日	86.5%
1 月	35 人	276 日	89.0%
2 月	32 人	266 日	91.7%
3 月	33 人	269 日	86.8%

※平均稼働率 94.2%【前年度 96.2%】

オ) 職員配置数

職 種	員数	正規職員		臨時 嘱託
		専従	兼務	
施設長	1	1		
事務職員	4	1	3	
介護支援専門員	1		(1)	
生活相談員	1	1		
機能訓練指導員	1	1		
看護職員	7	3		4
介護職員	40	32	(1)	8
管理栄養士	1		1	
介助員	1			1
夜間警備員	3			3
合 計	60	39	5	16

カ) 事業収入

①笑寿苑 (単位：千円) 前年対比：97.2% 計画対比：100.4%

	介護報酬	利用者負 担金	居住費補 足給付	居住費利 用者負担	食費補足 給付	食費利用者 負担	合 計
26年度	208,552	22,815	8,401	12,900	22,061	11,801	286,530
計 画	196,825	21,869	13,174	12,589	20,716	12,310	277,483
27年度	197,800	21,654	12,611	13,779	20,865	11,798	278,507

②短期入所 (単位：千円) 前年対比：97.3% 計画対比：100.6%

	介護報酬	利用者負 担金	滞在費補 足給付	滞在費利 用者負担	食費補足 給付	食費利用者 負担	合 計
26年度	26,508	2,945	231	3,795	313	4,065	37,857
計 画	25,660	2,851	452	3,477	626	3,547	36,613
27年度	25,775	2,869	348	3,604	420	3,823	36,839

キ) 行事・事業の実施状況

月	行事・事業
4月	レントゲン撮影、花見ドライブ、島根県知事・県議会議員不在者投票
5月	家族会総会 (清掃奉仕作業)、加茂中学校 (小学校) 奉仕作業
6月	笹巻き作り、おやつバイキング
7月	避難訓練、夏祭り、夏休み職場体験 (加茂中学校)
8月	七夕会、夏祭り職場体験 (大東高校) (加茂中学校)
9月	敬老祝賀会
10月	中学生職場体験、ふれあい祭り、運動会、民生委員ボランティア
11月	おやつバイキング、奥出雲町コンサート
12月	忘年会、クリスマス会、退公連女性部ボランティア
1月	新年会、ホームケア実習生受け入れ、選択食
2月	節分祭、和菓子作り、西広島教育福祉学院実習生受け入れ
3月	ひな祭り会、避難訓練、第4回笑寿苑内実践研究発表大会

※ちょっこし外出～随時

※笑笑 (にこにこ) 便り (年4回発行)

ク) 研修会及び会議への出席状況

◇研修会

認知症介護実践研修	ケアマネ研修
リスクマネジメント研修	ユニットリーダー研修
栄養士研修	身体拘束廃止（権利）研修
施設外研修（合計 30回）	

◇会議

職員会、主任者会（毎月）	リハビリ指導（隔月1回）
事業所連絡会（毎月）	各種委員会（随時）

【考察】

①収入について

事業収入は、全体では314,096千円の計画に対し、315,346千円であった。

(前年対比 97.2%) (計画対比 100.4%)

今年度は長期、短期共に計画に対してはわずかに上回ってはいるが、前年実績には及ばなかった。この要因については、退所者数の増加と入院者数の増加が影響したものと考えられる。

また、近隣地域にも施設整備が進められたこともあり、特養待機者や短期の利用者が減少しているものと思われる。今後、居宅介護支援事業所や関係機関との連携強化を図りながら、利用者の増加を目指して収入の安定につなげたい。

②感染症について

今年も全国的にインフルエンザやノロウイルス等の感染症が猛威を振るった。当苑は数人の職員がインフルエンザに感染したが、苑内感染拡大は防ぐことが出来た。今後も感染対策委員会を中心として対策強化を図っていく。毎年のことだが、まずは職員自身が感染しないように、手洗い、うがい、消毒、マスクの着用を励行し、感染症予防と対応に努めていきたい。

③施設サービスについて

今年度も第4回笑寿苑内実践研究発表大会を行った。各通り（ユニット）毎にそれぞれテーマを決めて、取り組んだことを発表することが出来た。この取り組みを実践することで、日々の目標が明確になり、職員間あるいは多職種の連携も強化することができる。今後も定期開催することで、自分たちのケアを振り返りながら職員個々のレベルアップを図り、施設サービスの向上につなげたい。

④家族会行事について

年間計画である奉仕作業・夏祭り・敬老祝賀会を順当に実施できた。

苑から出掛ける“ちょっこし外出”の企画では、わずかな時間でも利用者が自宅に帰り、家族や近隣の皆さんと一緒に過ごすことが出来て、利用者や家族に大変好評をいただいている。

⑤実習生・ボランティア・地域交流について

専門学校生や研修機関の実習生受け入れを積極的に行ったが、介護職を目指す若者がいないという現実があり、介護業界全体での対策が必要である。

⑥ターミナルケアについて

施設で最期まで看取った方は10名（18名中）であった。半数以上の方を施設で看取っており、今後医療・看護・介護の連携を密にして体制を充実させたい。

⑦資質向上の取り組みについて

施設内・外部研修に積極的に参加した。

これからも引き続き施設内・外部研修および施設間交流に積極的に参加し、職員の資質向上につなげたい。

※平成 27 年度資格取得者

- ・介護支援専門員（ケアマネジャー） 0名
- ・介護福祉士 1名

⑧今後の課題

「重労働で低賃金」と言われ、どこの介護事業所も慢性的な人手不足が続いている。働く職員が確保できず、サービス休止や閉鎖に追い込まれる施設も出ている。介護報酬引き下げも始まり、いかに継続的に人材を確保するかは現場の死活問題となっている。

今後は経営（管理）者だけでなく全ての職員が経営的な視点を持ち、収入の確保や諸経費の削減、人材確保・定着にいかにも有効な手立てを打つことができるかどうか重要である。

養護老人ホーム宇寿荘

(1) 第一種社会福祉事業

(2) 養護老人ホーム「宇寿荘」事業 入所定員 80名

ア) 入所等の状況

出身地	小計	非該当	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
雲南市	72	27	8	24	5	6	2	
松江市	1							1
出雲市	3	2			1			
安来市	1					1		
奥出雲町	2						1	1
合計	79	29	8	24	6	7	3	2

イ) 年度中の入所者の実績

	入所者数	退所者数	平均入所数	稼働率
26年度	13名	13名	78.3名	97.9%
27年度	16名	15名	78.1名	97.6%

ウ) 事業収入(単位：千円)

前年対比 100.9% 計画対比 103.7%

	介護保険事業	措置事業	その他事業	合計
26年度	65,199	149,269	499	215,070
計 画	63,121	146,064	598	209,155
27年度	66,862	149,093	961	216,916

エ) 外部サービス提供状況(延べ)

月平均利用者数 39.7名 平均介護度 2.0

	利用人数	利用回数	前年対比(収入)	計画対比(収入)
基本サービス	476	21,036	117%	114%
訪問介護	456	25,958	112%	116%
通所介護	64	378	77%	122%
認知症通所	262	2,568	89%	91%
福祉用具	178	585	107%	111%
訪問リハ	48	306	90%	104%

オ) 職員配置数

職 種	員数	正規職員	臨時
施設長	1	1	
生活相談員	3	3	
事務職	2	1	1
看護職員	2	2	
支援員	13	8	5
介助員	2		2
管理栄養士	1	1	
夜間支援員	3		3
合 計	27	16	11

カ) 行事・事業の実施状況

4月	桜花見	10月	交通安全指導、秋季遠足
5月	交通安全指導、節句	11月	地域交流運動会、収穫祭、避難訓練
6月	創立記念日、家族会、健康診断	12月	クリスマス会、歳末法要、忘年会
7月	避難訓練、納涼祭	1月	新年祝賀会
8月	盆法要、七夕祭り	2月	節分、健康診断
9月	敬老祝賀会、彼岸法要	3月	彼岸法要

*その他、誕生会・健康体操・各クラブ活動は毎月実施

キ) 研修参加状況

職場外研修合計 35日 延べ 34人参加

【考 察】

① 経営基盤の安定について

- ・介護保険収入は前年対比 102.6%、計画対比 106.4%であった。訪問介護の提供回数の増加が増収の要因である。
- ・措置費収入は前年対比 99.9%、計画対比 102.1%であった。平均稼働率はほぼ前年並みであった。
- ・全職員が経費節減の目標を掲げ無駄な支出を抑えた。

② ご利用者・ご家族・地域の方に信頼される施設作りについて

- ・ご家族との信頼関係を構築するために、広報等を通じて情報発信するとともに、行事や家族会などの参加を促し来荘頻度を増やした。
- ・地域児童、地域のクラブ活動や、老人クラブなどに施設機能を提供し、交流会を実施した。

③ 業務効率の改善とリスクマネジメントの構築について

- ・感染症対策として、吐物処理の演習を行い迅速な初動対応に備え、感染症の蔓延を防止した。
- ・全職員が業務の改善提案を行い、業務の効率化やサービス向上につなげた。

④ 人材育成の強化について

- ・接遇マナー向上のため「接遇コンテスト」を実施した。職員間やご利用者よりいい接遇場面を選出することで、気づきの機会を得ることができた。

⑤ 研修等の実施

- ・ご利用者のニーズが多様化する中、根拠あるケアを実践するために内部研修等を実施した。

デイサービスセンター愛あいの家

(3) デイサービスセンター愛あいの家事業 開設日数 257 日・利用定員 12 名

ア) 利用状況

年 度	延べ利用回数	延べ利用者数	月平均利用者数	1 日平均利用者数
26 年度	2,651 回	260 人	21.7 人	10.4 人
27 年度	2,568 回	262 人	21.8 人	10.0 人

イ) 介護度別延べ利用回数

年 度	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
26 年度	11	922	641	634	443	0	2.2
27 年度	35	1,486	314	384	247	102	1.9

ウ) 事業収入 (単位: 千円) 前年対比 94.5% 計画対比 95.9%

年 度	介護保険事業	その他	合 計
26 年度	25,263	0	25,263
計 画	24,912	0	24,912
27 年度	23,703	181	23,884

エ) 職員配置状況

管理者	生活相談員	介護職員	看護職員	合 計
1 名 (兼務)	1 名 (兼務)	2 名	1 名 (兼務)	5 名

オ) 事業の実施報告

4 月	花見ドライブ	10 月	調理レク (おやつ作り)
5 月	園芸週刊	11 月	秋の運動会・紅葉ドライブ
6 月	端午の節句 (笹巻団子作り)	12 月	忘年会・鍋会食・クリスマス会
7 月	行事食 (団子汁作り)	1 月	新年お茶会
8 月	七夕祭り会	2 月	節分
9 月	敬老会 (宇寿荘合同)	3 月	ひな祭り

【考察】

- ① 経営基盤の安定について
 - ・ 事業収入は前年対比 94.5%、計画対比 95.9%であった。介護報酬のマイナス改定や軽度の要介護者の利用が増えたことなどが要因である。
 - ・ 業務効率化や水道光熱費などのコスト削減を実践し事業支出を抑えた。
- ② 職員の資質向上について
 - ・ ミーティング等により振り返りをして接遇面の向上を図った。
 - ・ 研修会に参加し、ニーズに合わせたサービス提供に努めた。
- ③ 地域との連携強化について
 - ・ 宇寿荘と連携し、地域交流を図った。
 - ・ 平成 28 年度より設置義務となる運営推進会議へ向けた準備を行った。
- ④ リスクマネジメントの強化について
 - ・ 利用者の心身の状態に合わせて個別支援を実施した。
 - ・ 施設内の環境整備をして事故防止対策を実践した。
 - ・ 手洗い、うがいの励行を促し、感染予防に努めた。

ヘルパーステーションかも

(4) ヘルパーステーションかも事業

【介護保険】

① 介護度別利用者数（累計） 前年対比：94.1%

年 度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計	平均介護度
26年度	35	50	72	66	21	65	14	323	1.85
27年度	27	48	54	98	17	33	27	304	1.87

② 利用状況 前年対比：108.1%

年 度	開設日数	延べ利用回数	1月平均訪問	1日平均訪問	1月利用者数
26年度	365日	5,602回	466.8回	15.3人	26.9人
27年度	366日	6,057回	504.8回	16.5人	25.3人

【障害者総合支援ヘルプ】 前年対比：88.5%

年 度	延べ利用人数	延べ訪問回数	1月訪問回数	1月平均利用数	1人利用回数
26年度	132人	1,370回	114.2回	11.0人	10.4回
27年度	123人	1,213回	101.1回	10.3人	9.9回

【生活管理指導員派遣事業・生活支援ヘルプ】 前年対比：68.3%

年 度	延べ利用人数	延べ訪問回数	1月訪問回数	1月平均利用数	1人利用回数
26年度	33人	249回	20.8回	2.8人	7.5回
27年度	23人	170回	14.2回	1.9人	7.4回

③ 事業収入（単位：千円） 前年対比：100.7% 計画対比：116.2%

年 度	報酬収入※1	負担金収入	自立支援給付費	生活管理指導員	外部受託収入	合 計
26年度	16,318	1,783	6,588	533	4,272	29,494
計 画	15,402	1,691	4,806	257	3,407	25,563
27年度	17,035	1,829	5,946	364	4,526	29,700

※1：広域連合拡大給付、オーバー・キャンセル料 含む。

④会議・研修会出席状況

(1) 会議

会議名	回数	会議名	回数
雲南地域訪問介護部会	8回	ヘルパーミーティング	12回
事業所連絡会	5回	運営会議	7回
雲南市ケア会議	1回		

(2) 研修会

研修会名	出席者数	研修会名	出席者数
交通安全研修	14名	高次脳機能研修	1名
ホームヘルパー研修	2名	キャリアアップ研修	1名
苦情解決研修	1名	介護支援専門員更新研修	1名
救急救命講習	13名	感染症研修	12名
障害者特性研修	13名	メンタルヘルス研修	13名
権利擁護研修	13名	サービス提供者研修	2名

⑤職員配置状況（平成28年3月31日現在）

管理者	サービス提供責任者	訪問介護員	登録ヘルパー（パート）
1名	3名	1名	11名

【考察】

- ① 介護保険事業について
利用者減少するも H27 年度新設の短時間訪問（20 分）利用者があり訪問回数も増えて事業収入は増加した。
- ② 障がい支援事業について
利用者の入院や入所、利用回数の減で収入も減少した。
- ③ 生活管理指導員派遣事業について
利用者の入院や新規利用者も無く利用者は減少した。
- ④ 外部サービスについて
宇寿荘と連携を図り効率的に訪問した。
- ⑤ 利用者アンケートについて
アンケートによる満足度調査を行った結果、ほぼ全項目で80%以上の結果が得られたが、今後更に満足度が高まるよう努力したい。
- ⑥ 広報誌による情報提供について
アンケート結果等を広報誌（年1回）に掲載し、情報提供を行った。
- ⑧ 登録ヘルパーの確保について
登録ヘルパーを確保し、スムーズな訪問対応に努めた。
- ⑨ 資質向上について
研修会などへの積極的な参加により職員の資質向上に努めた。
- ⑩ 実習生の受け入れについて
実習生の受け入れを行い、介護人材の底辺拡大に寄与した。
- ⑪ 適切なケアの実施について
「自己評価」の実施やケアの標準化、ヘルパーミーティングによる情報の共有化を図り、利用者の状態に即した適切なケアの実施に努めた。

加茂デイサービスセンター

加茂デイサービスセンター事業【介護保険】利用定員：35名

① 介護度別利用者数（累計） 前年対比：94.5%

年 度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計	平均介護度
26年度	75	183	346	266	73	91	52	1,086	1.59
27年度	72	257	252	235	91	68	51	1,026	1.48

② 利用状況 前年対比：99.4%

年 度	開設日数	延べ利用回数	1月平均利用	1日平均利用	1人平均利用	1月利用者数
26年度	308日	8,784回	732.0回	28.5人	8.1回	90.5人
27年度	308日	8,729回	727.4回	28.3人	8.5回	85.5人

③ 事業収入（単位：千円） 前年対比：94.7% 計画対比：99.4%

年 度	報酬収入※1	負担金収入	食費等利用料収入※2	外部受託収入	合 計
26年度	67,258	7,420	5,672	3,660	84,010
計 画	64,741	7,214	5,969	2,171	80,095
27年度	63,991	7,060	5,638	2,901	79,590

※1：広域連合拡大給付 含む。

※2：オーバー・キャンセル料、おむつ代 含む

④職員配置状況（平成28年3月31日現在）

課長※1	係長（看護・機能訓練・口腔兼務）	生活相談員※2	看護職員嘱託	作業療法士
1名	1名	2名	1名	1名

介護職員※3	送迎運転手
9名	4名（パート）

※1：管理者・生活相談員兼務

※2：介護職員兼務

※3：専従=5名 嘱託=1名 臨時=2名
障害者雇用=1名

⑤事業の実施状況

(1) 月別行事

月	事業名	月	事業名
4月	花見ドライブ・外出（由志園）	10月	外出（堀川遊覧）・運動会
5月	外出（由志園）・園芸	11月	外出（一畑薬師）・ドライブ
6月	外出（出雲大社）・笹巻作り	12月	忘年会・鍋会
7月	二十三夜祭り・ショッピング	1月	初詣・初釜
8月	外出（カラオケ）・ドライブ	2月	節分
9月	敬老会・園芸・外食	3月	園芸・ドライブ

(2) 年間事業

事業名	回数	事業名	回数
広報誌	年4回発行	アンケートの実施	1回
家族会	1回(12月)	職員個人面談	1回
職場体験実習（雲南市中学生）	1名	実習生受入れ（トリニティカレッジ）	1名
ホームケア 介護職員初任者研修	1名		

(3) 地域交流事業

事業名	回数	事業名	回数
将棋サロン 480.	4回	児童クラブ 10~18	6回
苺クラブ	3回	からたちばな展示	2回
チャレンジスクール	1回	小学生茶道クラブ	1回
よっといで祭り作品展示	1回		

⑥会議・研修会出席状況

(1) 会議

会議名	回数	会議名	回数
通所介護部会総会	1回	職員会議	12回
雲南市ケア会議	1回	レク会議	随時
サービス担当者会議	随時	ケース検討会	随時
事業所連絡会	5回	各委員会	12回
運営会議	7回		

(2) 研修会

研修会名	出席者数	研修会名	出席者数
通所介護部会研修(雲南・県)	7名	集団指導	1名
通所介護交流研修	1名	人材育成研修	1名
認知症実践者研修	1名	リハビリ研修	1名
老施協県大会	1名		

【考察】

①事業収入について

27年度の介護報酬改定がマイナス改定で介護報酬が下がった状況下、重度者の入院・入所等により平均介護度が下がった結果、利用回数の減により前年度実績を下回った。8月からは新たに認知症加算を算定し、収入増に繋がったが予算額には及ばなかった。

②個別ケアについて

それぞれの委員会を活用しながら、個別ケアについて検討を行い実施した。認知症加算を算定したことで、今まで以上に個々の関わりを大切にすることができた。

③職員の資質向上について

研修会等に積極的に参加し、また、参加者による伝達研修も実施して情報の共有化や資質向上に努めた。

④家族との連携について

日々の送迎時や連絡ノートの活用、家族会の開催により家族との連携を図った。

⑤ 広報誌による情報提供について

ご利用者の活動状況やアンケート結果等を広報誌(年4回)に掲載し、情報提供を行った。

⑥感染症予防について

インフルエンザにかかられた利用者の方もおられたが、職員はかかることなく通常どおりサービスを提供することができた。利用時には発熱がなく、誰が感染しているかわからないことから、今後も感染症予防には気を引き締めて取り組みたい。

⑦地域貢献・地域交流について

27年度、委員会を立ち上げ地域交流に取り組んだ。からたちばなの展示に来ていただいたり、将棋サロンの方や乳幼児、小中学生と幅広く交流を図り、デイサービスを知っていただくよい機会になった。28年度は地域貢献できないか検討を行う予定である。

デイサービスセンターほほえみ

デイサービスセンターほほえみ事業【介護保険】利用定員：12名

① 介護度別利用者数（累計） 前年対比：100.7%

年 度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計	平均介護度
26年度	1	5	120	68	42	22	12	270	1.96
27年度	0	5	103	93	45	10	16	272	2.00

② 利用状況 前年対比：106.9%

年 度	開設日数	延べ利用回数	1月平均利用	1日平均利用	1月利用者数
26年度	308日	2,880回	240.0回	9.4人	22.5人
27年度	①-5日 303日	3,080回	256.7回	10.2人	22.7人

③ 事業収入（単位：千円） 前年対比：105.8% 計画対比：104.0%

年 度	報酬収入※1	負担金収入	食費等利用料収入※2	合 計
26年度	32,323	3,478	2,141	37,942
計 画	33,022	3,629	1,975	38,626
27年度	34,513	3,756	1,885	40,154

※1：広域連合拡大給付 含む。

※2：オーバー・キャンセル料、おむつ代 含む

④事業の実施状況

(1) 月別行事

月	事業名	月	事業名
4月	花見ドライブ（町内・木次・三刀屋）	10月	ミニ運動会
5月	カレー作り・軽スポーツ・園芸	11月	おやつ作り（お好み焼き）・紅葉ドライブ
6月	笹巻き作り	12月	クリスマス会（ハーモニカー演奏・踊り）・ケーキ作り・鍋会
7月	おやつ作り（お好み焼き）・避難訓練	1月	初釜
8月	七夕飾り・おやつ作り（牡丹餅）	2月	節分（ちらし作り）
9月	敬老会（カラオケ・マジックショー・ダンス）・園芸	3月	おやつ作り

(2) 年間事業

事業名	回数	事業名	回数
広報誌	年2回発行	事業所内交流研修(見学含む)	4名
家族会	1回(11月)	アンケートの実施	1回
職場体験実習（雲南市中学生）	4名		

(3) 地域交流事業

事業名	回数	事業名	回数
チャレンジスクール	4名	小学校茶道クラブ	14名

⑤会議・研修会出席状況

(1) 会議

会議名	回数	会議名	回数
サービス担当者会	随時	運営会議	7回
通所介護部会総会	1回	職員会議	12回
事業所連絡会	5回	雲南市ケア会議	1回
認知症支援ネットワーク会議	2回	集団指導	1回

(2) 研修会

研修会名	出席者数	研修会名	出席者数
雲南地域通所介護部会研修会	10名	デイ部会研修	1名
認知症ケア研修	1名	人材育成研修	1名
老施協研修	1名	職員全体研修（救急法・感染症・交通安全・メンタルヘルス）	20名
通所介護部会交流研修	1名		

⑥職員配置状況（平成28年3月31日現在）

課長※1	生活相談員	介護職員	送迎運転手
1名	2名（介護兼務）	3.5名※2	3名（パート）

※1：管理者・看護職員・生活相談員兼務

※2：2名専従 1名臨時 常勤換算0.5名パート

【考察】

① 事業収入について

前年度対比105.8%、計画対比104.0%といずれも上回った。

介護度別でも中重度の方の利用の安定と、1日平均利用者数が増え、延べ利用回数も伸ばすことができたことが収入増に繋がった。

しかし、2月はインフルエンザの感染により5日間事業所を閉鎖した関係で60万円程度の減収になった。

② 資質の向上について

研修会に積極的に参加し、資質の向上に努めた。

③ 感染症対策について

2月にインフルエンザが蔓延し、利用者5名、職員2名が発症し、早めの対策として事業所を5日間閉鎖した。感染予防として手洗い、うがい、消毒、マスクの着用を徹底していたが感染が広がった。まずは職員自身が感染しないよう予防に努めていきたい。

④ 地域交流について

中学生の職場体験の受け入れと、チャレンジスクールなど小学生の来訪があり、ご利用者に喜んで頂くことができた。

⑤ 家族との連携について

11月に家族会を開催し、ビデオを通して日々の活動を知っていただく良い機会となった。

また、広報誌の発行回数を増やしてほしいとの要望もあり、翌年度に向けて検討することとした。

かも福祉会居宅介護支援事業所

居宅介護支援事業

①ケアプラン作成数 介護給付：1,280件・予防給付：472件 合計1,752件

1ヶ月平均ケアプラン作成数：146件（ケアマネ1人当たり件数：40.6件）

②介護度別ケアプラン作成数 前年対比：106.2%

年度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	平均介護度
26年度	115	233	536	406	166	132	61	1,649	1.62
27年度	190	282	460	464	163	119	74	1,752	1.55

③取扱件数 前年対比：93.3%

年度	区分	訪問他	相談他	合計	総合計
26年度	介護給付	1,543	1,893	3,436	3,998
	予防給付	329	233	562	
27年度	介護給付	1,484	1,601	3,085	3,730
	予防給付	404	241	645	

④事業収入（単位：千円） 前年対比：106.3% 計画対比：99.0%

年度	居宅介護支援介護料収入	包括支援C受託収入	訪問調査受託収入	合計
26年度	19,080	1,504	378	20,962
計画	20,234	1,894	374	22,502
27年度	19,770	2,084	419	22,273

⑤介護（要支援）認定訪問調査件数（前年140件） 前年対比110.0%

27年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 154件
	17	16	16	16	7	11	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	12	10	11	11	16	11	

⑥会議・研修会出席状況

(1) 会議

会議名	回数	会議名	回数
居宅ミーティング	毎週1回	雲南市ケア会議	1回
居宅サービス事業所連絡会	5回	地域ケア会議	1回
運営会議	7回	入所判定委員会（笑寿苑）	3回

(2) 研修会

研修会名	出席者数	研修会名	出席者数
島根県介護支援専門員協会研修	4名	雲南市成年後見制度研修会	2名
雲南地域介護支援専門員協会研修	4名	介護支援専門員研修兼更新研修	1名
雲南地域介護サービス事業管理者連絡会：居宅部会研修、情報交換会	4名	雲南ケアマネ協会：医療連携シート作成専門部会	1名
地域ケア会議実践研修	1名	家族介護者教室：口腔ケア研修会	
認定調査員現任研修会	1名		
主任ケアマネフォローアップ研修	1名		
人権研修	1名		

⑦職員配置状況（平成 28 年 3 月 31 日現在）

管理者（部長兼務）	課長	主任	介護支援専門員
1 名	1 名	1 名	2 名

【考察】

①ケアプラン作成数について

全体（予防・介護）では前年対比 106.2%で、予防は 135.6%と大きく伸びた。これは認定結果が軽めに出る傾向があるため増加したものである。新規依頼に関しては、27 年度は月 4 件程度であり、ほぼ例年並みであった。

②事業収入について

前年対比では 106.3%、計画対比は 99%でほぼ計画どおりとなった。特定事業所加算Ⅱが算定出来る常勤専従 3 名を満たしていたため、1 件 300 単位から 400 単位の加算の算定ができるようになったことも収入増につながったと考えられる。

③ケアマネジメントの質の向上について

特定事業所加算を算定している事業所として、計画的な研修参加が義務づけられていることもあり積極的に参加した。

④地域との連携について

事業所連絡会で民生委員との意見交換会を行ったり、地域資源に係る会議に出席して地域との連携を深めた。

⑤地域貢献について

福祉講座や認知症サポーター養成講座（自治会や自主組織）を開催し、地域貢献に努めた。

⑥広報誌による情報提供について

アンケート結果等を広報誌（年 1 回）に掲載し、情報提供を行った。

かも社会就労センター

1. 利用者数：34名（男性 21名・女性 13名）

身体障害：10名 知的障害：16.5名 精神障害：6.5名 難病：1名

2. 利用状況（平均年齢：53歳・最高齢：91歳・最年少：26歳）

年度	開所日数	延べ契約者数	延べ利用者数	月延べ利用者数	日当り利用数
26年度	305日	9,606人	6,070人	505.8人	19.9人
27年度	307日	9,741人	6,487人	540.6人	21.1人

3. 受託加工取引業者と作業内容

- ・株式会社 山光：自動車部品の加工
- ・ナカバヤシ株式会社：ファイルの加工
- ・協栄ファスナー：自動車部品の加工
- ・(株) ソノ：タオルの袋詰め
- ・小早川製粉：蕎麦の実袋詰め作業（不定期）
- ・味噌加工事業（合同作業）
- ・木耳栽培（～H27.9）
- ・笑寿苑：洗濯・掃除
- ・信書便事業（H25.3～）
- ・つつじホール事業（H26.4～）
（利用料・葬儀準備片づけ等）
- ・ヒカリ電子：箱詰め作業

4. 種類別加工賃売上高（単位：千円） 前年対比：100.8%

年 度	委託加工事業 管理費消費税含	清掃活動事業	味噌加工・木 耳事業	つつじホール事業	信書便事業	合 計
26年度	4,247	1,964	563	1,118	2,328	10,220
27年度	4,404	1,728	570	1,150	2,448	10,300

5. 事業収入（単位：千円） 前年対比：102.9% 計画対比：104.3%

年度	訓練等給付費	利用者負担金	計画相談支援※1	合 計
26年度	42,341	65	2,593	44,999
計 画	42,364	108	1,951	44,423
27年度	43,633	100	2,581	46,314

※処遇改善加算は、訓練等給付費に含む。

※1：（計画相談支援給付費収入）委託収入 含む

6. 行事・事業の実施状況

月	行事・事業名	月	行事・事業名
4月	花見（桜）・花見（牡丹）	10月	秋の1日研修旅行
5月	交通安全教室	11月	総合防災（避難訓練）
6月	総合防災（避難訓練）・家族会	12月	忘年会
7月	花見（蓮）	1月	新年会
8月		2月	健康診断
9月		3月	茶話会

7. 会議・研修の出席状況

(1) 会議

会議名	回数	会議名	回数
雲南地区障害者就業連絡会議	1	運営会議	7
障害者就労支援ネットワーク会議	1	サービス事業所連絡会	6
住まいを考えるネットワーク会議	1	相談事業所と市町村の連絡会議	1
職員会議	12	相談支援連絡会議	1
地域部会	6	相談支援部会	5

(2) 研修会

研修会名	出席者数	研修会名	出席者数
介護職員初任者研修	1	甲種防火管理講習	1
サービス管理責任者研修	2	障害者就労支援視察研修	1
うつ病対応研修	1	権利擁護研修(虐待防止法)	2
雇用の分野における障害者差別禁止合理的配慮研修	1	中国・四国信書便管理者実務研修	2
罪を犯した人に対する利用支援協力事業所専門研修	1	成年後見制度研修	1
食品衛生講習会	1	就労学習会	1
難病医療従事者研修	1	相談支援従事者研修(初任・現任)	3
事業所内交流研修	1	職員全体研修(交通安全・人権・感染症・救急法)	25

8. 相談支援事業

計画作成者数	91件(新規:3件・継続:88件) 前年度:90件
相談支援収入	2,581,750円 (前年度 2,593,200円) 前年対比 99.5%

9. 職員配置状況(平成28年3月31日現在)

管理者(相談支援事業所兼務)	主任(相談支援専門員)	生活支援員	職業指導員
1名	1名	4名(内2名臨時)	2名(内1名臨時)

※1名育休中

10. つつじホール事業

	ミーティングルーム		研修室		葬儀(研修室利用数の内数)	
	H26	H27	H26	H27	H26	H27
4月	12	10	9	6	8	6
5月	8	6	5	2	4	2
6月	8	7	6	4	6	4
7月	22	12	10	6	10	6
8月	9	9	3	6	3	6
9月	7	5	4	4	4	4
10月	11	10	5	4	5	4
11月	9	11	4	6	4	6
12月	8	6	6	6	6	6
1月	8	9	6	9	6	9
2月	7	9	5	9	5	9
3月	14	16	10	13	10	12
合計	123	110	73	75	71	74

【考察】

①受託作業について

業者によっては担当者の交代等あり受託量が安定せず日々変動する状況もあったが業者と連携を取り安定供給に努めた。味噌・木耳はイベントなどの機会も利用し職員が結束して販売に努めた。清掃・洗濯作業は体力的に利用者が限定されることもあり、対応できる利用者の確保に努めたい。

②事業収入について

前年対比・計面对比共に上回ることができた。受注バランスは悪かったが平均して作業があったこと、利用者の出勤率の向上が延べ利用者数増につながり生産量も上がったことがプラス要因と思われる。また、信書便は27年度より雲南市と図書館の業務委託契約を結び増額となった。木耳については天候・採算面より今年度で終了した。

③実習生受け入れについて

平成27年度から初めて実習生を受け入れ、最終的に年間15名を受け入れた。専門学校生(トリニテイ、山陰中央大学校)、島大学生・養護学校学生を順次受け入れたが個人差が大きく3名の同時受け入れは負担が大きいことが反省点であった。作業をしながらの指導は負担も大きい、無理のない範囲で各学校・実習依頼事業者と連絡を密にし、職員間で協力しあい今後も継続したい。

④職員の質の向上について

知的・精神・身体・難病等様々な疾病を持ちながらの利用者を受け入れている就労支援事業所であり、各種研修に積極的に参加し職員全員の資質向上に努めた。

⑤職場実習について

一般就労希望者については、雲南障がい者就業生活支援センター「アーチ」と連携し事業所見学・実習など引き続き支援していく。平成27年度は1名希望があり連絡・訪問を経て5日間実施することができた。体験を通じ雲南市民バス利用の習得や従業員とのコミュニケーション等、利用者の大きな自信につながった。

⑥新規事業開拓について

28年度からは加茂町内で行政連絡員への文書配送業務の新たに受託が決定している。交通安全に留意し遂行したい。

⑦家族会の開催について

家族会を開催し、利用者家族に現況説明を行い職員と親睦・交流の機会を得た。

⑧地域交流について

放課後児童クラブの子供たちの訪問を受け利用者から大変喜ばれた。

⑨相談支援事業について

3月現在26名利用。雲南市と相談支援事業所の委託契約を更新し、モニタリング訪問や居宅ケアマネ・ヘルパーステーションかも・市内相談支援事業所と連携し支援を行った。

⑩つつじホール事業

昨年と比較すると研修室については葬儀会場の競合の影響が心配されたが冬季の利用が順調にあり結果的に増となった。駐車場が遠いと言う声もあるが立地条件や利用料の利点を掲げ利用増加に繋げていきたい。ミーティングルームの利用は減少傾向にあり利用周知に努める。

◇事業収入集計（単位：千円）

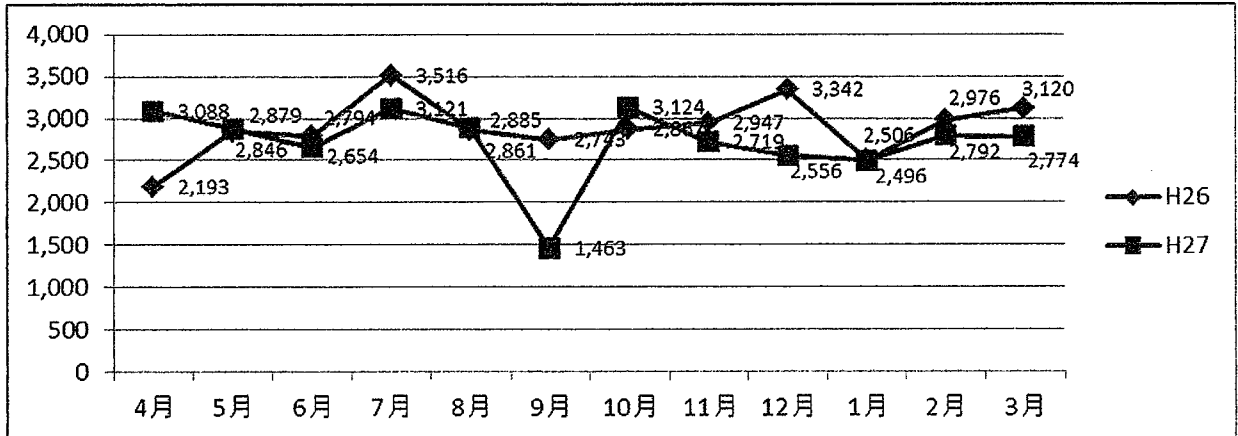
進捗率 100%

事業所名	前年度	計 画	実 績	前年対比	計画対比
笑寿苑（長期）	286,530	277,483	278,507	97.2%	100.4%
笑寿苑（短期）	37,857	36,613	36,839	97.3%	100.6%
宇寿荘	215,070	209,155	216,916	100.9%	103.7%
愛あい	25,263	24,912	23,884	94.5%	95.9%
ヘルプ	29,494	25,563	29,700	100.7%	116.2%
加茂デイ	84,010	80,095	79,590	94.7%	99.4%
ほほえみ	37,942	38,626	40,154	105.8%	104.0%
居宅支援	20,962	22,502	22,273	106.3%	99.0%
かも就労	44,999	44,423	46,314	102.9%	104.3%
合 計	782,127	759,372	774,177	99.0%	101.9%

加茂健康福祉センターかもてらす

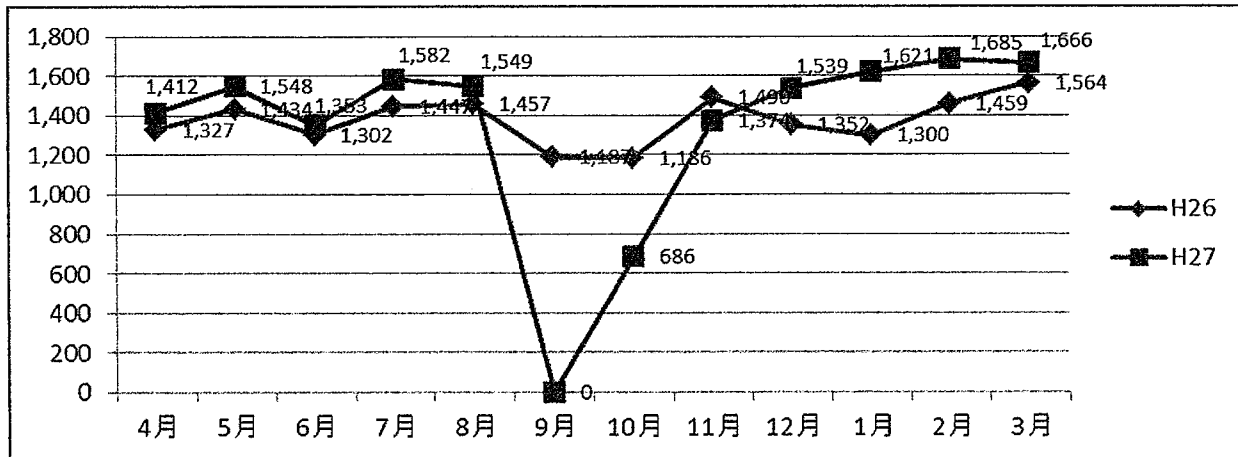
◇入館者数 前年対比 93.8%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H26	2,193	2,846	2,794	3,516	2,861	2,743	2,867	2,947	3,342	2,506	2,976	3,120	34,711
H27	3,088	2,879	2,654	3,121	2,885	1,463	3,124	2,719	2,556	2,496	2,792	2,774	32,551



◇入浴者数 前年対比 97.0%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H26	1,327	1,434	1,302	1,447	1,457	1,187	1,186	1,490	1,352	1,300	1,459	1,564	16,505
H27	1,412	1,548	1,353	1,582	1,549	0	686	1,374	1,539	1,621	1,685	1,666	16,015



【考察】

・懸案だった浴室改修工事が9月から1ヶ月半かけて施工、併せて浴室内換気的环境改善を図る工事も行われた。その間は休業とした結果、対前年度比較は97%、利用者数で490人程下回った。

・RDF 燃焼炉は、大きなトラブルもなく運転できた。

